

♡ 1 年生「SS リテラシー」特別授業(12 月 8 日)

「SS リテラシー」において、水文学、地質学、サンゴ礁学の専門家を講師に招聘し、特別授業を実施しました。なお、水文学「安元 純(琉球大学農学部・助教)」氏の授業の様子は第 9 号をご覧ください。

地質学の専門家「新城 竜一(琉球大学理学部・教授)」氏の授業は、琉球列島の地形の成り立ちや琉球石灰岩の利用、港川人化石など沖縄県の地層や地質について幅広く学べる内容でした。沖縄本島の地形の成り立ちや海面上昇や地殻の隆起により石灰岩層がどのように発達していったかなど、地質学で見る沖縄県のお話には生徒達は興味津々な様子でした。



【特別授業の様子】



【特別授業の様子】



【琉球石灰岩】

《生徒達の感想》

- 陸地の成り立ちについて: 向陽高校は港川石灰岩の上にある事が分かった。琉球石灰岩は石畳や道路に使われている他、国会議事堂の建築材としても使われているという事に驚いた。
- 陸地の成り立ちについて: 沖縄の石や、地層などの歴史を学べた。個人的には琉球石灰岩の有孔虫の形が不思議でお気に入りだった。

サンゴ礁学の専門家「井口 亮(国立産業技術総合研究所・主任研究員)」氏の授業では、地球規模・地域規模の環境変化からサンゴにどのような危機が迫っているかを考える内容でした。地球温暖化による海面上昇や海洋酸性化などの環境変化によってサンゴがどのような被害を受けるかを生徒同士で考え、意見交換するなどとても盛り上がりました。



【特別授業の様子】



【特別授業の様子】



【意見交換の様子】

《生徒達の感想》

- 地球温暖化や海洋酸性化について化学式や反応式から知ること、それが与えるサンゴへの影響を理解することができた。
- 我々人間の手によって綺麗な海を壊してしまい、その結果サンゴや他の生き物が消えていくのはとても悲しいことだと思った。それを改善する方法も知ることが出来た。

《授業の成果》この SS リテラシー特別授業を実施することで、地域の特徴や問題点を詳しく学ぶことが出来た。研究テーマを決める際に、地域の特性や問題点を理解し、課題を設定する上で有意義だと考える。